

57. 当院で診断した無症候性多発性骨髄腫の後方視的検討

研究の概要

多発性骨髄腫は無症候性（症状がみられない）の間は治療を行わず経過観察を行いますが、多くの方が経過中に治療が必要となります。無症候性多発性骨髄腫の患者様の経過から、早期に治療が必要な状態になる可能性が高くなる要因を見出し、今後の治療に役立てることを目的としています。

研究の目的と方法

本研究においては2008年1月1日から2018年12月31日の間に当科で診断された無症候性多発性骨髄腫の患者様を対象としています。電子カルテより日常診療で得られたデータから後方視的に解析します。

本研究の参加について

本研究により患者さんに新たな検査や費用の負担が生じることはありません。また、研究で扱う情報は、個人が特定されない形で厳重に扱います。皆様の貴重な臨床データを使用させていただくことにご理解とご協力をお願いいたします。本研にご自身のデータを研究に使わないでほしいと希望されている方、その他研究に関してご質問がございます際は、末尾の問い合わせ先までご連絡ください。

調査する内容

本研究は、新たに試料・情報を取得することではなく、既存のカルテデータ（問診記録、身体所見、検査データ）を用いて実施する研究です。研究対象者（患者様）の個人情報（氏名、住所、電話番号）は記載せず、個人情報は特定されません。

調査期間

研究期間（観察期間）：診断日～2019年6月30日

研究成果の発表

研究成果については、学会、論文などでの発表を予定しています。

研究代表者

血液内科 原田奈穂子

当院における研究責任者

血液内科 原田奈穂子

問い合わせ先

血液内科 原田奈穂子

TEL: 096-353-6501